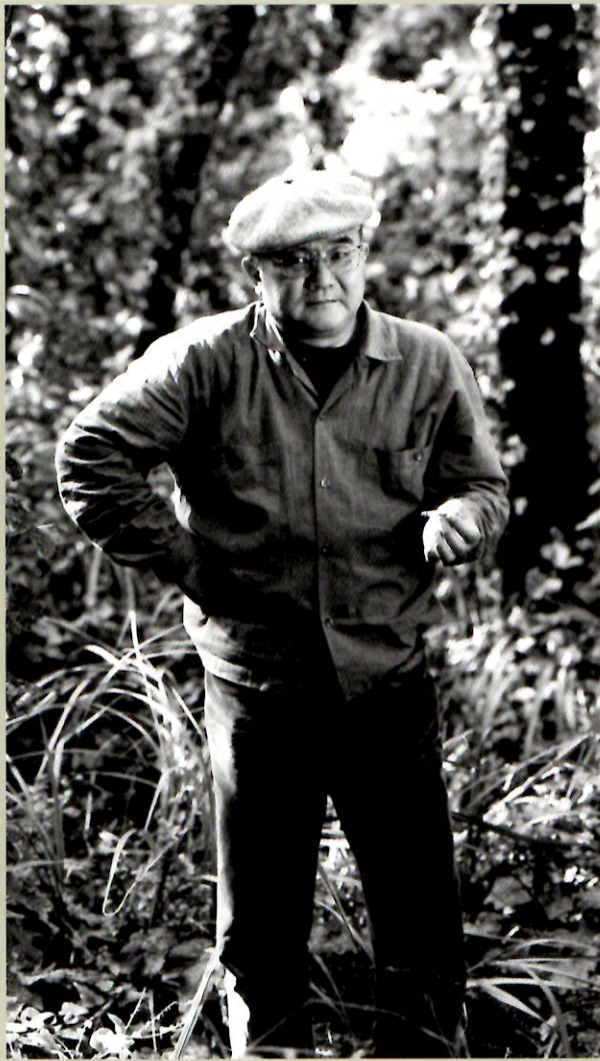


茅ヶ崎市開高健記念館 絶筆『珠玉』の周辺

3つの宝石を核として物語が展開するトロワコント『珠玉』が「文学界」に発表されたのは、開高健が息を引き取る8日前のことである。

南北両アメリカ大陸縦断行からエメラルドの原石を持ち帰った開高は、宝石研究を重ね、最期は病魔と闘いながらこの作品を書きあげた。

今回は、絶筆『珠玉』が完成するまでの足跡を辿りながら、ベトナム戦争、ワイン、そして宝石と日本文学の新境地に生涯をかけて拓き続けた小説家の生きかたを浮き彫りにしてゆく。



共同 企画展

酒をど も沈ま ず

開高健の
生きかた

茅ヶ崎ゆかりの人物館 開高家の人びと

◎妻・牧羊子、娘・開高道子

1974年、東京から茅ヶ崎市に移り住んだ開高健は、58年余の生涯を終えるまでこの地に住み続け、最期の瞬間まで文筆活動に挑み続けた。

また、釣り、食と酒、宝石との出会いなど、多彩な趣味が持ち前の行動本能を駆りつづけていった。

作家・開高健にいちばん近い人たち—妻、娘、友人たちが、彼をどのようにみていたのか。また、開高健ゆかりの品や交流のあった方々のエピソードから「人間」として「家庭人」としての側面を紹介する。



茅ヶ崎市開高健記念館・茅ヶ崎ゆかりの人物館

- 会期=2019年10月12日(土)~2020年3月29日(日) ■住所=〒253-0054 茅ヶ崎市東海岸南6-6-64
- 開館日=金・土・日・祝祭日(臨時休館あり) ■開館時間=10時~18時(10月)・10時~17時(11月~3月) ※入館は30分前まで
- 観覧料=各館200円(両館の共通観覧料300円) ※18歳未満及び高校生以下無料 ※茅ヶ崎ゆかりの人物館多目的館の観覧料は無料
- 電話=茅ヶ崎市開高健記念館:0467-87-0567 <http://www.kaiko.jp/>
茅ヶ崎ゆかりの人物館:0467-81-5015 http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bunka_rekishi/1020607/index.html
- ご案内=JR茅ヶ崎駅南口より約2km [コミュニティバス] 東部循環市立病院線・松が丘コース「開高健記念館」バス停下車すぐ
[神奈中バス] 辻堂駅南口行き 辻02系・辻13系「東海岸北5丁目」バス停より約600m
- 主催=茅ヶ崎市 ※Facebookにて「茅ヶ崎ゆかりの人物館・開高健記念館」をご覧ください。